

# やなばう 議会だより

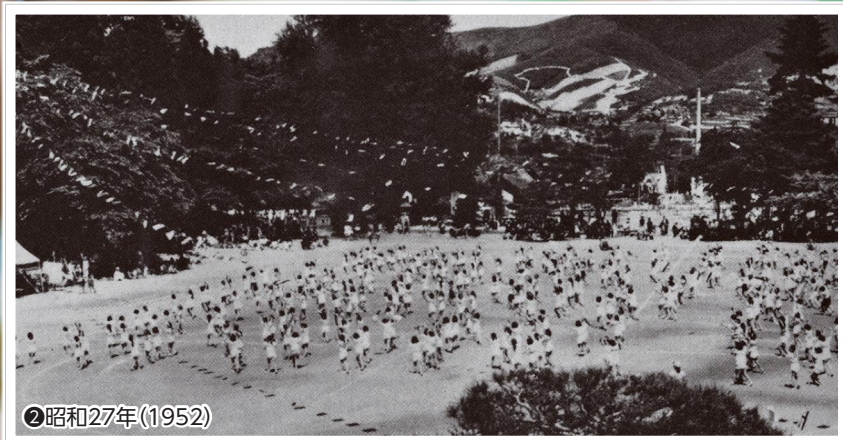


## contents

- 補正予算……………3～4
- 予算委員会……………5
- 一般質問……………6～9
- 各常任委員会……………9～10



①昭和17年(1942)



②昭和27年(1952)



③昭和47年(1972)



NCV「みんなの世界」より

ホームページはこちらから [南陽市議会](#) [検索](#)



ななよう議会だより No.170

令和4年6月定例会

7月16日発行

発行／南陽市議会

編集／南陽市議会報編集委員会

この議会だよりは環境を考え、再生紙を使用しています。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しております。

## 発掘「南陽の歴史」①吉野地区

源義経の忠臣 佐藤継信・忠信兄弟ゆかりの地

佐藤継信・忠信兄弟は、『平家物語』や『源平盛衰記』によって源義経の忠臣として知られます。共に若くして亡くなりますが、多くの物語や伝説に彩られた歴史的人物です。



兄弟の死後、その父佐藤庄司基治は、文治5(1189)年、平泉討伐に向かう源頼朝軍を福島石坂(飯坂辺)で迎え討ち大敗します。その子孫佐藤源左衛門清信は南陽市下荻に逃れ、南蔵院佐藤家の祖となります。



00段近いお御坂の中段左に、継信・忠信はじめ佐藤家先祖代々を祀る墓所があり、今も大切に供養されています。

(南蔵院文書より) 米沢市の常信庵は、継信・忠信兄弟の母梅唇尼の開基とされ、義経が供養のため訪れたとの伝えがあります。また、近くの佐氏泉公園には兄弟が産湯を使ったと言われる清水があり、それぞれ米沢市の観光スポットになっています。

## 全国市議会議長会表彰 受賞



市議会議員在職10年表彰  
船山 利美 議長

市議会議員在職15年表彰  
板垣 致江子 議員

正副議長在職4年表彰  
高橋 篤 議員

市議会議員在職10年表彰  
山口 正雄 議員

## 編集後記

日ごとに暑さが厳しくなり、熱中症に注意が必要な季節になりました。十分な水分補給など熱中症対策をお願いしたいと思います。議会報編集委員会も新メンバーになり、初めての定例会です。親しみある議会報にしていきたいと思っています。

(伊藤 英司)



- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 伊藤 英司 |
| 副委員長 | 山口 裕昭 |
| 委員   | 佐藤 憲一 |
|      | 島津善衛門 |
|      | 高岡 亮一 |
|      | 高橋 一郎 |

## 表紙説明 学校紹介

vol.1

宮内小学校の150周年記念式典が6月4日に行われました。

宮内には、寺子屋師匠への酬恩碑が8基も残っており、古来教育熱心な土地柄でした。いち早く明治4(1871)年に米沢興譲館の郷学校として開校、翌年の学制公布とともに「宮内学校」がスタートします。宮内町初代町長となる佐野元貞宅を借り受けての創立でした。「秀でたものが鍾まる」ということで「鍾秀学校」と称した時代もありました。児童数が最も多かったのは戦時中の昭和20



(1945)年で、2266名を数えました。空襲から逃れて疎開した子どもたちも入っています。現在は300名ちようどです。表紙の写真は、①戦時中の勤労動員で草刈りや炭運びに行く前の高学年。全児童数は1973名。②創立80周年「宮小行進曲」発表。全児童数1537名。③『百年のあゆみ』より。全児童数877名。



## 第2回臨時会 6月定例会

第2回臨時会

4月21日

条例3件

- ・市税条例等の一部改正
  - ・都市計画税条例の一部改正
  - ・国民健康保険税条例の一部改正
- 以上3件は、常任委員会審査を経て可決した。

補正予算1件

一般会計の補正

新型コロナウイルス、ウクライナ情勢等に起因した燃料価格・物価高騰等の影響を受けている市民の家計を応援し、地域における消費を喚起することを目的に、市内で利用できるクーポンを全市民に配布する補正は、予算特別委員会の審査を経て可決した。

6月定例会

6月6日～21日

承認1件

子育て世帯生活支援特別給付金事業費の補正のため、専決処分を行った一般会計補正予算を承認した。

報告5件

- ・令和3年度の一般会計等の予算継続・繰越明許費等の報告4件
- ・土地開発公社の経営状況説明

同意2件

- ・固定資産評価審査委員会委員1名の任期満了による再任を同意
- ・宮内財産区管理委員1名の任期満了による再任を同意

条例・その他3件

- ・選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正

## 補正予算 3億4,000万円を可決 燃料価格・物価高騰対策等

- ・市道路線の廃止、認定2件
- 以上3件は、常任委員会の審査を経て可決した。

補正予算1件

- ・庁舎省エネ設備等導入事業費、魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金、臨時地方道整備事業費、雪害修繕工事6件等
- による補正は、予算特別委員会の審査を経て可決した。

計12件すべてを、同意、承認、可決した。

一般質問

6名の議員が2日間にわたり当局の考えを質した。

その他1件

- ・救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の取得

追加補正予算1件

一般会計の補正

地方創生臨時交付金を活用した燃料価格・物価高騰対策、感染対策関連の補正は、予算特別委員会の審査を経て可決した。

議員発議2件

本定例会に2件の発議があり、審査を経て全員異議なく可決した。

発議第3号 営農継続のための施策

の見直しと支援の充実に関する意見書の提出について

発議第4号 議会ICT推進特別委員会の設置について

委員会の設置について



## 一般会計

## 補正予算の主なもの 1億3,361万円

## 庁舎省エネ設備導入事業

1,859万円

南陽市庁舎について、災害・停電時に防災拠点施設としての機能を維持するとともに、平時の温室効果ガスの排出抑制を推進するため、再生可能エネルギー設備の導入等に係る実施設計を行うもの。



## 果樹王国やまがた 再生戦略推進事業

960万円

J Aや農業法人等が行うリース型園地整備に向けた支援で、国の産地生産基盤パワーアップ事業の活用を前提として、国5/10、県2/10の補助に加えて、企業版ふるさと納税を財源に、市で1/10を上乗せして補助するもの。



## 地域おこし協力隊募集事業

200万円

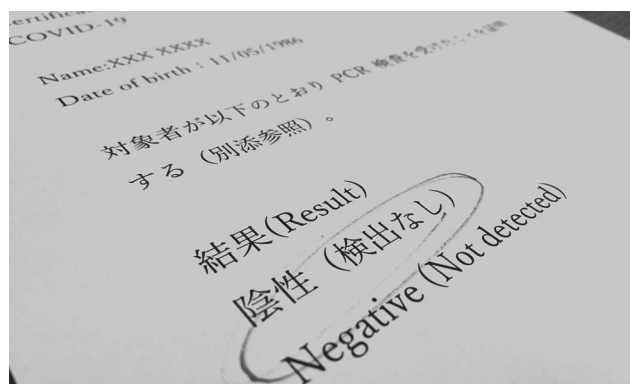
2週間から3か月程度の期間で受け入れする地域おこし協力隊インターン分の事業費。

5人分の滞在に要する費用として報償費のほか、プログラム作成委託料として50万円を見込んだ。

## PCR検査業務委託料

466万円

県と県医師会による休日の新型コロナウイルス検査体制の継続的確保に呼応し、南陽市東置賜郡医師会の協力の下、本市が所管する休日診療所でのPCR検査件数の増加への対応を図るもの。



## 魅力ある園芸やまがた 所得向上支援事業

670万円

生産者の所得向上と園芸産地をリードする競争力の高い経営体の育成のため、農業用ハウス、気象災害対策設備、省エネルギー設備等の導入及びハウス改修経費について、県と市が協調して補助するもの。

### 雪害による施設等修繕費

|           |         |
|-----------|---------|
| ・文化会館     | 1,430万円 |
| ・夕鶴の里     | 219万円   |
| ・漆山小学校    | 176万円   |
| ・結城豊太郎記念館 | 127万円   |
| ・ライフル射撃場  | 75万円    |
| ・沖郷中学校    | 28万円    |

※全額共済金から充当





## 燃料価格・物価高騰対策

7,439万円

### 1 持続可能な園芸農業支援事業費 1,900万円

燃料費や農薬・肥料など、生産資材の高騰の影響を受けている10a以上の園芸農業者に資材高騰分の20%を助成するもの。

### 2 配合飼料高騰対策緊急支援事業費 1,287万円

配合飼料の急騰で影響を受けている酪農・畜産・養豚・養鶏農家を県と同じ対象、助成基準で支援する。（助成額は県事業の1/2を予定）

### 3 燃料価格・物価高騰緊急経営支援事業費 3,010万円

新型コロナに加え、燃料・原材料価格や物価高騰の影響を受けている中小企業及び個人事業主で、本年の4～6月いずれかの売上げが前年、前々年どちらかの同月比20%減少している事業者に対し、法人10万円、個人5万円を支援する。

### 4 道路貨物運送・地域交通事業者緊急経営支援事業費 693万円

燃料高騰等の影響を受けている道路貨物（トラック）運送や貸切バス・タクシー・運転代行事業者を支援する。  
（1台目は5万円、2台目以降2万円または3万円）

### 5 学校給食等支援事業費 549万円

令和4年4月（直近）の消費者物価上昇率を基準に算出した給食材料費の上昇分を助成するもの。  
対象：保育施設、児童館、幼稚園、小中学校

## 一般会計

追加補正予算の主なもの  
1億4,425万円

## 感染症対策

6,926万円

### 1 コロナ感染症抗原検査キット購入費 238万円

小中学校の修学旅行、地域でのイベントなどを安心して実施できるように抗原検査キットを1,800セット購入する。

### 2 電子黒板購入費 3,316万円

感染拡大時の学習機会確保のため小中学校の普通学級全てに電子黒板67台を配置する。

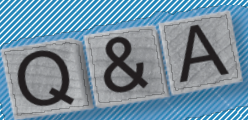
### 3 小中学校トイレの洋式化工事費 2,200万円

飛沫感染を防止するため、小中学校のトイレ55基を洋式化するもの。

※このほか・・・  
幼稚園のトイレ5基の洋式化を200万円で予算化



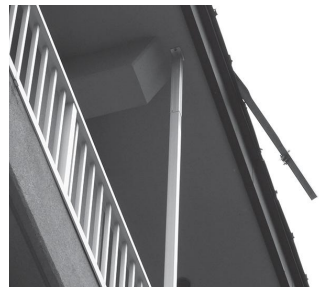
## 予算



## 歳入

### 市有物件建物共済金

◎大雪で公共施設の被害が甚大だ。共済金での修繕となったが一般財源の持ち出しはないか。また、今後の対応は。  
◎A 今回の修繕は100%共済金で対応される次年度から共済金は被害額の50%となる。新たな管理体制と予算措置を講じる。



◎自宅と同様の感覚で管理すべき。

◎A 今年は平成以降最大の降雪量だった。今後さらに徹底し管理する。

◎定期報告書等を活用した管理体制を。

◎A 公共施設総合管理計画でも、各施設のチェックシートを準備し、日々点検を行っている。

## 歳出

### 地域おこし協力隊

◎地域おこし協力隊の定住策は。

◎A 市を好きになってもらい、活動する地域や人との関わりが大事。地域連携を深め、3年後の定住を見つめて協力の活動活用を進める。

### 非核平和のタベ事業

◎市単独財源で580万円当初予算化された。実行委員会の開催状況は。  
◎A 会議はまだだが、委

員の意見も踏まえ、総合的に判断し遂行する。

◎8月の事業なのに対応が遅すぎないか。

◎A 小中学生には5年前の「流れる雲よ」ではないものがふさわしい。

◎A 非核平和の趣旨が伝わるように進める。

◎目的、計画だけで中身がないのに、何故予算が執行できるのか。

◎A 意見を踏まえ考えている段階で、当初の考えに固執せず検討する。

◎まだ決まっていなかったが不思議だ。

◎子供たちのための非核平和都市宣言ということを理解した対応を。

### 果樹農家への人手不足支援策

◎果樹の繁忙期に人手不足を解消するため、県や寒河江市は公務員の兼業を認めた。また、高校生等の人的

資源を活用する考えは。

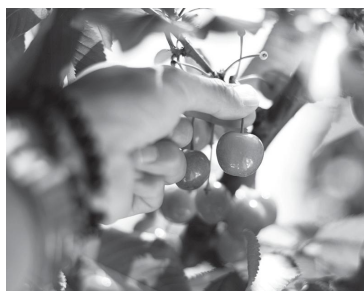
◎A 職員の兼業には注目しており、地域活動への参画を前向きに進める。

◎高校生については学校側に話をしてみる。

◎農業に限らず、雪下ろしボランティアも、是非検討を。

◎A 職員の人員確保の意見もあるが厳しい状況。職員の希望や地域要望への対応も検討する。

◎ボランティアをするしないが成績評価にならないように要望する。



### コロナワクチン接種

◎市報5月1日号に「ワクチン接種済者の

新規陽性者数は、未接種者に比べ少ない」データが掲載されたが、正しい情報ではなかった。

◎A 国の集計方法が変更となったため市報6月16日号に、新規情報を掲載した。今後も機会を見て、最新の情報を掲載する。

◎ワクチン接種後の副反応は医療機関報告分で1743人死亡、重篤者2万2440人。

◎厚労省は都道府県に、ワクチンとの因果関係に関わらず、医療機関を受診できる体制の確保等、迅速な救済を図っていると聞くが。

◎A 県の説明会で情報があつたが、その後未確認。厚労省の定める健康被害救済制度に該当すれば、市として救済が行われるようにする。

### 赤湯駅の自由通行

## 追加補正予算

### 燃料価格・物価高騰対策

◎迅速な執行を望むが、県事業と併給可能なものもあり混乱しないか。

◎A 売上比、本年4～6月が20%以上減は本市で同30%以上減は県だ。提出様式も簡略化する。

◎売上減より経費増対策を主に考えてほしい。

### 小中学校電子黒板

◎購入台数は。  
◎A 20台は配置済み、今回の67台で全教室分だ。



# 一般質問 鋭く迫る！

議員が、市政全般にわたり考え方や方針を市当局に質問することです。  
一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。  
6月定例会では、6月7日と8日に6人の議員が質問を行いました。

※質問の内容を要約して掲載しています。  
※議会ホームページで録画映像を配信しておりますのでご覧ください。  
会議録は、9月に公開予定です。



- |               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 1佐藤 憲一（政風会）   | 地域おこし協力隊の対応                      |
| 2山口 裕昭（倫政会）   | 有事における市民の安全確保／今後の観光振興策           |
| 3島津善衛門（保友クラブ） | 小学校の余裕教室を有効活用すべき／耕作放棄地への新たな取り組みを |
| 4高橋 一郎（真政会）   | 気候変動と治水計画見直し                     |
| 5佐藤 明（無会派）    | 物価高騰から市民の生活を守る経済対策を              |
| 6高岡 亮一（無会派）   | 宮内公民館改築等／「鎌倉殿の13人」と南陽            |

一般質問とは



山口 裕昭 議員

## コロナ禍以降の観光振興策

有事における

市民の安全確保

◎増加する飛翔体の脅威への備えは。

〈市長〉国の国民保護法、県の国民保護計画を基に保護計画を策定し、事態発生時の対処方針を決めている。

飛翔体は短時間での飛来が予想される。丈夫な建物に窓から離れて避難してほしい。

今後の観光振興策

◎増加が予想されるイースラム圏の旅行者への対応は。

〈市長〉県主催の外国人旅行者対応研修会で禁忌食材について学ぶ機会があった。今後は関係機関に情報提供を進

めていきたい。

◎イベントの効果検証は適切か。

〈市長〉妥当性・必要性・公平性・効率性・有効性の5項目を毎年評価検証し次年度へ活かしている。

重要事業では評価目標を定め市振興審議会に事業の効果検証をいただいている。地域の実情やコロナ禍で事業内容の見直した事例もあった。

◎低予算で複数の事業を行い、その中から良い事業に集中投資するなど、若年層が提案しやすい環境が必要だ。

〈市長〉若年層を取り込んだ企画は大切だ。検討したい。

◎現在、市内にはアウ

トドアのニーズを満たす場所がない。

〈市長〉新たな整備の考えはないが、南陽スカイパークエリアなどは魅力的な場所のため、新たな活用や整備について今後検討する。

◎梨郷の運動公園なども非常に魅力的だ。

これらの場所は市街地から近く、初心者向けやファミリーユースでの需要が見込める。ぜひ進めて頂きたい。



佐藤 憲一 議員

## 地域おこし協力隊の対応

人口減少への対応

◎地域おこし協力隊はその地域への定住・定着を図る取り組みで、平成21年度に開始されたが、本市が取り組みを開始するきっかけは。

〈市長〉少子高齢化が進む中、地域の担い手となり活力を維持するための人材を求めている。地域の活性化を促進できる事業として取り組みを開始した。

◎総務省発表の速報値によると全国で6千名を超える人が活躍しているが、本市の受け入れの推移は。

〈市長〉受入れ開始は平成27年度で、隊員数は平成27年度1名、平成28年度2名、平成29年

度3名、平成30年度2名、令和2年度3名、令和3年度6名、今年度7名で、8年間で延べ24名、実数にして11名を受け入れている。

◎地域おこし協力隊は任期終了後もその地域への定住・定着を図ることを目的としているが、総務省の直近の発表では、「同じ地域」への定住割合は、おおよそ65%であるが、本市の定住状況はどうなっているか。

〈市長〉これまで任期終了した隊員4名の内、市内定住が1名、近隣市町が1名で、「同じ地域」への定住割合は50%となっており、残りの2名は他地域に転出している。

小学校の余裕教室を有効活用すべき

◎これまで社会教育の範疇として公民館等を利用する大人の書道教室や絵画教室・手芸教室等を学校の管理時間内の利用に限って開放することはできないか。大人の活動を小学生が見学できることでの影響は大きいと思うが。

〈教育長〉国の補助金を活用して整備をした学校施設を学校用途以外に活用する場合、財産処分の手続きを行う必要がある。現在、宮内小学校の2つの教室と漆山小学校の1つの教室を学童保育施設として活用している。

〈学校教育課長〉余裕教



島津 善衛門 議員

## 農地の再生 新たな手法で

室は課題別学習・集会・協働的な学び・制作活動等の場としてや、地域ボランティアの協力を得て茶道教室・昔の遊び等のクラブ活動で利用している。社会教育との連携は今後研究する。

がある。「おなかを満たすための生産農業」だけでなく、自分達で育てた作物を自分達で消費するという「心と体を満たす農業」を推進すべき。

〈市長〉従来の農業へのアプローチとは異なる「半農半X（エックス）」と表現される。

自分のやりたい仕事と両立しながら、収入にこだわらず自分が食べていくための農業をするような、新たな形態が注目を浴びており、様々な農業への関わり方が生まれている。

今後、多様な働き方にも目を向けながら、農地の荒廃を防ぎ、有効利用につながる施策を検討する。



耕作放棄地への新たな取り組みを

◎「耕作放棄地問題」が深刻化しており、従来とは違う多様な事業ができるようにする必要

◎国・県の財政支援はどうなっているか。  
〈市長〉国の財政支援として、隊員1名あたり480万円を上限に、「地域おこし協力隊の活動に要する経費」の特別交付税措置が講じられている。  
◎地域おこし協力隊制度を進めるうえで、課題があるとすればどのようなものがあるか。  
〈市長〉本市が求める人材と応募側が希望する活動とマッチングの問題があげられる。







高橋 一郎 議員

## 気候変動と治水計画見直し

### 流域治水プロジェクト

◎地球規模で気候変動による災害が頻発し、本市においても8年前平成26年の洪水被害規模を超える災害も危惧される。治水計画も流域全体で行う「流域治水」への転換が図られている。特に、次の点について、具体的な施策をどのように考えているか市長に伺う。

**ハード対策**

- ①遊水池改良
- ②体制構築
- ③雨水幹線の整備
- ④田んぼダム
- ⑤コロナ対策を加味したマイタイムライン
- ⑥ペットと同行避難

〈市長〉①本市での計画

はない。②管理者主体のハード対策から、国や県、市、東北電力㈱や土地改良区を始めとする企業や事業者、住民などあらゆる関係者が流域全体で対策を実施する「流域治水」を一体で進める。③平成16年から吉野川雨水第一幹線事業を推進し、郡山地内での浸水被害の軽減が図られており今後も継続する。④県営漆山地区基盤整備事業における推進⑤市報や各地区・自主防災会の防災研修会、小中学校での防災学習を利用してマイタイムラインの紹介やコロナ禍における避難の方法等について啓発を行い今後とも普及促進に努める⑥



災害時のペットへの対策は飼い主が自らの責任の下、災害を乗り越えて飼養し続けること。自治体が行う対策は飼い主への適正飼養を支援すること。本市では、ペットとの避難に係るマニュアル等は作成していないが、他自治体の動向も見ながら今後の対応を検討していく。



佐藤 明 議員

## 物価高騰から市民の生活を守る経済対策を

◎今、物価高騰が大変深刻になっている。その原因は、「新型コロナウイルス」と「ウクライナ侵略」だけではなく、もう一つ大きな原因が「アベノミクス」の名で「異次元の金融緩和」というやり方を続けてきたこと。このことが異常円安をつくり、輸入品の高騰を招いている。



もう一つの問題は、働く人の賃金が上がらないこと。年金が下がり続けている。教育費の父母負担も重すぎる。消費税の連続増税で家計も傷んでいる。色々な問題が山積みしている。こういった状況の中で、今後の経済に対する認識と対策は、

〈市長〉物価高騰は、市民生活や経済活動に深刻な影響をもたらしている。また、対策として、市民生活や事業者の事業継続などを支援し、現在、緊急経済対策事業第17弾「南陽市民全市民応援クーポン事業」を実施しているところだ。

◎帝国データバンクの調査によると、食品値上げが累計1万789品目となり、年内に再値上げ、再々値上げ等



が進む公算が大きいとみている。農業生産に不可欠な肥料や家畜の飼料、農業資材の価格高騰、学校給食費の負担増も懸念されている。その具体的対策は。

〈市長〉最終日に補正予算を提案したい。食材が高騰していることから、学校給食の保護者負担が増えないように補助する制度、畜産をはじめ農業の飼料代等の高騰に対する支援などを考えている。



高岡 亮一 議員

## 「鎌倉殿の13人」と南陽

### 宮内公民館改築等

◎「宮内から市民の新しい拠点をつくらう会」を中心に議論を重ねてきた。しかし、コロナ禍で市との意見交換の場がないまま現在に至る。今後どうするか。

〈市長〉宮内公民館運営委員会を通してご意見を聞き計画に反映してきた。

〈副市長〉説明会の日程は、用地拡張の見通しが立った時点でお示しする。

◎山銀跡地利用とも絡めて、須藤永次翁顕彰について吉野石膏㈱と話をしてきた経緯もある。民間の力の活用を考えてはどうか。

〈市長〉地元には須藤永次翁への思いがあることを伝えながら、今後とも吉野石膏㈱とは良好な関係を築いていく。

### 「鎌倉殿の13人」

◎北条義時、政子の異母兄弟北条相模坊臨空が羽黒修験の頭領としてこの地を仕切ったことが「北条郷」の名の由来という。また13人のひとり大江広元の次男時広が長井郷（置賜）の地頭となる。その子泰秀は、焼失等で苦しむ熊野大社の再興に尽くし「融通神社」に祀られる。さらに広元の長男親広は寒河江郷（村山）の地頭となり四百年続くが、最上義光に滅ぼされ、その

ある者は置賜に入って寒河江姓を名乗って今に至る。大河ドラマが盛り上がるこの機会に南陽との関わりを市民に知ってほしいと思うが。

〈教育長〉市のホームページ等で情報発信していく。

〈市長〉歴史の話は大変興味深いので、活かせるものは活かしていく。

◎南陽市民大学講座の果たす役割は大きい。県の補助打ち切りの話も聞くが。

〈教育長〉市としては継続に向け検討していく。



## 選挙費用の公営に関する条例の一部を改正

務 務  
常任委員会  
6月10日

### 審査報告

#### 付託議案1件

◆南陽市議会議員及び南陽市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正

公職選挙法施行令の一部改正により、国会議員の選挙の公営に要する費用に係る限度額が引き上げられたことに伴い、所要の改正を行うもの。

具体的には、選挙運動用自動車の借入れ日額や燃料費の使用限度額の日額、さらに選挙用ビラの作成単価、選挙ポスターの印刷単価を別表のように改正する。

委員より、増額の理由に関して質疑があり、当局から参議院選挙が行われる年の定例改正として、3年に一度人

|               | 改正前      | 改正後      |
|---------------|----------|----------|
| 選挙運動用自動車借入れ日額 | 15,800円  | 16,100円  |
| 燃料費使用限度日額     | 7,560円   | 7,700円   |
| 選挙運動用ビラ作成単価   | 7円51銭    | 7円73銭    |
| 選挙運動用ポスター印刷単価 | 525円6銭   | 541円31銭  |
| 選挙運動用ポスター企画費  | 310,500円 | 316,250円 |

（委員長 山口裕昭）  
審査の結果、全員異議なく可決した。



